演習 II

科目ナンバリング　SEM-302
必修　　2単位

小西　杏奈

1. 授業の概要（ねらい）

少子高齢化が急速に進む日本では、都市部でも地方でも地域社会の問題が山積している。都市部では、住宅問題や子供の貧困、保育園の待機児童問題などが深刻化する一方、地方では、人口流出や過疎化によりコミュニティそのものの存続が危ぶまれる地域も数多く存在する。地域社会のこれらの問題は、私たちの生活と密接にかかわっているために、一刻も早い解決が望まれる。しかし、その解決策は、画一的なものであってはならなず、個々の地域の多様性を尊重したものであることが求められる。本演習では、輪読やフィールドワーク、自治体訪問を通じて、地域社会の問題について考え、その解決策を探る。
秋学期は、春学期で学んだことをベースに、グループまたは個人ごとにリサーチをさらに進めたり、発見した問題に対する必要なアクション（ワークショップの開催など）を自ら考えて実施する。

2. 授業の到達目標

（1）地域社会の問題について、自ら問いを発見し、調査し思考する能力をみにつける。
（2）自分の考えを明確に表現し、人に伝えるプレゼン能力を習得する。
（3）他者の発言にしっかりと耳を傾けることができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

演習の参加状況、プレゼンテーションの内容、グループワークへの貢献度をみて総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
外山滋比古　思考の整理学　筑摩書店

5. 準備学修の内容

グループまたは個人ごとの研究の遂行と発表の準備。

6. その他履修上の注意事項

ゼミナール形式で行われる。すべての演習に出席すること。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス：春学期の振り返り、秋学期のグループ・テーマ決定
【第2回】　グループワークまたは個人によるリサーチ：研究テーマ①
【第3回】　グループワークまたは個人によるリサーチ：研究テーマ②
【第4回】　中間報告①
【第5回】　グループワークまたは個人によるリサーチ：研究テーマ③
【第6回】　グループワークまたは個人によるリサーチ：研究テーマ④
【第7回】　中間報告会②
【第8回】　グループワークまたは個人によるリサーチ：研究テーマ⑤
【第9回】　グループワークまたは個人によるリサーチ：研究テーマ⑥
【第10回】　週末を利用した箱根合宿・中間報告③（予定）
※新型コロナウイルスの感染状況により開催されない場合もある。
【第11回】　グループワークまたは個人によるリサーチ：研究テーマ⑦
【第12回】　グループワークまたは個人によるリサーチ：研究テーマ⑧
【第13回】　グループワークまたは個人によるリサーチ：研究テーマ⑨
【第14回】　最終報告会
【第15回】　1年間の振り返り（オンライン）